

島根県原子力講演会 2015（雲南会場） 参加者ご意見、ご感想

【ご質問】

Q8 放射線や放射能について、お知りになりたいことをお書きください。

【ご回答】

- ・災害時の情報が伝え方。要旨をどのようにうめるかが問題
要支援者の避難手段（孤立地区となった場合）
- ・正しい理解を持つことが大切。自分で正しく理解し判断することが大切
- ・中国の原発が事故を起こした場合、へん西風によって放射性物質が日本へ来るおそれはないか知りたい
- ・30キロ以内が避難区域となっているが30キロというのは何を根拠にしたものか、風の方向とか地形とかをもう少し考えるべきでは？30キロ～35,40キロに住む者の対応？こちらの対応も県として動き方を示して頂きたい。ある年齢以下をどうするかも含めて！
- ・影響の度合 放射された場合の残存の程度、事故
- ・ヨウ素ざいの使用について、どんな時にどのように使うか
- ・いざ発生した際に何に注目（知るべき情報）すべきことは
- ・ぜひ、学校で子供向けに被ばくについての話をしてほしい。
- ・分からない事が恐怖を生むので、正しい知識を得たいと思っていました。
少し医学的で難しい所がありましたが、子供に対しての重要性がよく分かりました。
- ・この様なお話が一番聞きたいところでした。
- ・食品の安全に関すること

【ご質問】

Q9 本日の講演会の感想などをご自由にお書きください。

【ご回答】

- ・子どもへ放射線の知識を与える機会を設けて欲しい
- ・わかりやすく説明をしていただきました
DNAや食品の関係は特に良かったです
- ・原発事故が起きたときバスでひなんする計画のようだがバスの運転手が業務を拒否した場合の対策は考えてあるか
- ・わかりやすい話であったように思う
- ・放射線の講演が初めて聞きました。放射線の感受性は子どもにより高いこと、怖いと思います。正しく放射線について知ること、自分自身や周りの人を守るようになりたいと思います。貴重な講演をありがとうございました。
- ・プルームについて興味がある。効果的に避難するためにどのようにしたら良いか、県、市は住民に教えていかなければならない。知らないと守れない。子どもに教育するのも大切だ。竹島と同じ位の教育時間を使っても良いと思った。
指針を作って終わりではない。どう住民に伝えるか努力していかないといけないと思った。
- ・とても講演に慣れた講師さんのように思えました。
医療サイドからの説明は新鮮でした。
- ・放射線について学ぶよい機会となりました。
- ・正しくこわがる事を実践したいと思います。
- ・基本的な知識を修得出来ありがとうございました。
また次回も参加し、知識を深めていきたいと思っています。

- ・必要な講演会であったと思う
- ・活性酸素のくだりは必要性がわかりませんでした。
- ・父親として、子供への被ばくの感受性の高さについてのお話を伺えたのは、とてもためになった。
プルームの発生（地形や天候）を考慮した具体的防災計画や住民へのリアルな情報提供の実施をお願いしたい。住民向けのわかりやすいチラシも作ってください。
- ・聞きたい内容だったので興味深く聴かせていただきました、ありがとうございました。